

週間漁海況情報—第5号

平成25年2月4日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

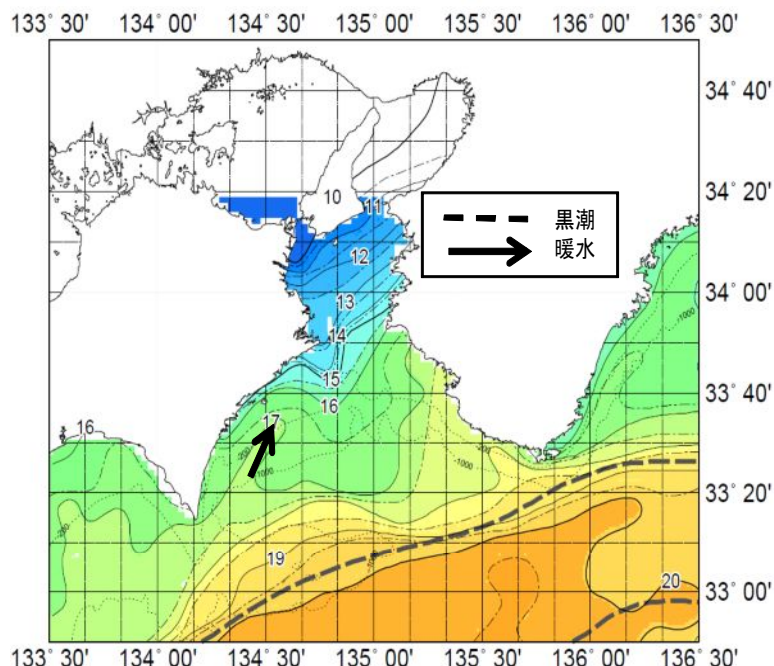
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

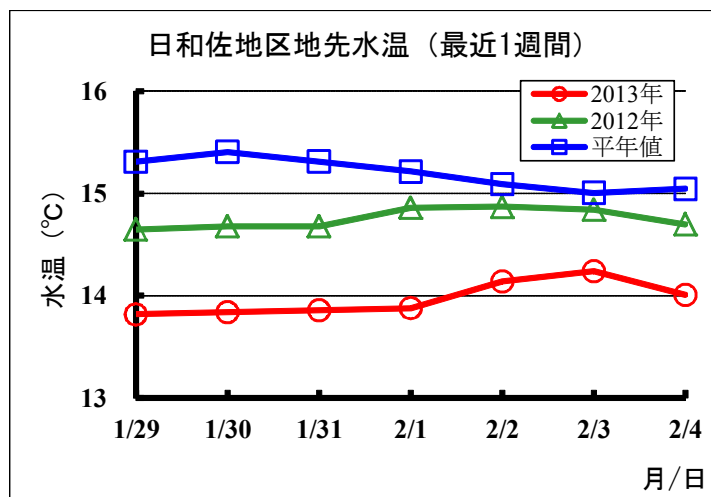
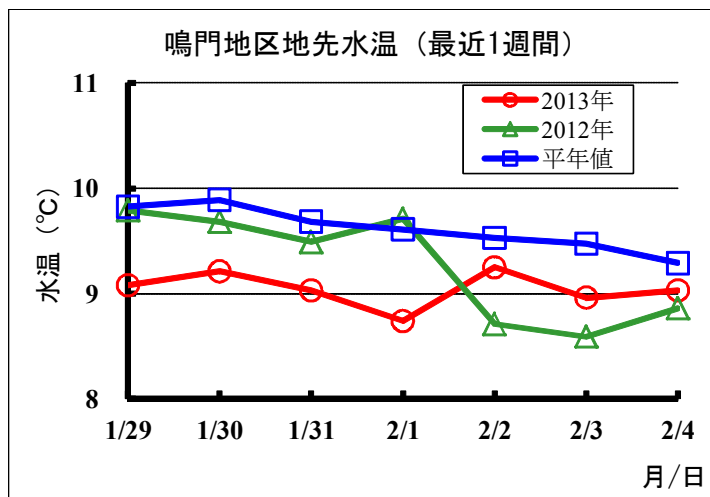
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.2.4）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で9～14℃台、海部沿岸で14～17℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬側から緩やかな暖水流入がある。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の8.7～9.3℃、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の13.8～14.2℃、牟岐地区は「かなり低め」～「平年並み」の12.1～15.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・中主体にアカムツが0.4トン（1日1隻あたり14kg）、大主体にキダイが0.9トン（同18kg）、大・中主体にサバフグが0.3トン（同18kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが0.9トン（同28kg）、キビナゴが0.3トン（同29kg）、アオリイカが0.3トン（同5kg）、スルメイカが0.2トン（同10kg）、小主体にいか類が0.2トン（同4kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.6トン（同62kg）、小小主体にマルアジが0.4トン（同49kg）、ハマチが0.3トン（同29kg）、中主体にスルメイカが1.0トン（同109kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にゴマサバが0.2トン（同18kg）、特大・大主体にタチウオが0.4トン（同64kg）、大主体にアオリイカが0.3トン（同8kg）水揚げされた。

かご：海部沿岸で、小主体にうつぼ類が0.2トン（同19kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 1月28日～2月3日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	25	358	14	大・中主体
		キダイ	51	901	18	大主体
		サバフグ	18	322	18	大・中主体
小型定置網		カタクチイワシ	34	940	28	
		キビナゴ	9	264	29	
		アオリイカ	60	291	5	
		スルメイカ	22	224	10	
		いか類	48	203	4	小主体
大型定置網		マアジ	9	560	62	マメ主体
		マルアジ	9	440	49	小小主体
		ハマチ	9	261	29	
		スルメイカ	9	985	109	中主体
釣り		ゴマサバ	11	201	18	大主体
		タチウオ	7	445	64	特大・大主体
		アオリイカ	42	342	8	大主体
かご		うつぼ類	13	248	19	小主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の1月30日～2月5日には、海部沿岸では、延縄で、大・小主体にサバフグが0.7トン、大主体にアマダイが0.2トン、建網で、中主体にヒラメが0.4トン、小型定置網で、アオリイカが0.8トン、カタクチイワシが0.7トン、キビナゴが0.2トン、メジナが0.3トン、釣りで、大主体にアオリイカが0.9トン、中・特大・大主体にマサバが0.8トン、大主体にゴマサバが0.8トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の13～14℃台で推移する見込み。